

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学校教育目標・教育方針	教職員	①私は、学校教育目標や教育方針を理解し、達成できるよう努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は教職員100%(R5は96%)生徒90%(R5は、89%)保護者69%(R5は75%)地域 79%(R5は65%)となった。 校長の掲げる教育方針を意識して教職員は教育活動を行ってきた。そのため、生徒の肯定的評価の値は高いのに、そのことが保護者、地域に広く理解されていないことが課題である。</p>
	生徒	①私は、学級目標や個人目標を達成するために努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員や生徒の努力、特に学校教育目標に関連付けて努力している事実についての広報活動を更に充実させる。 ・行事や学校公開などのタイミングを活用し、保護者や地域への幅広い周知を促進する。
	保護者	①私は、学校教育目標や教育方針を知っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方に知っていただく方法を工夫する必要がある(例:市民センター、新町小学校等に西中のコーナーを作り、様々な情報を月1くらいの割合で更新し発信する/学校応援団の協力により管理していくのもいい) ・目標に関する校内掲示を増やす ・更に学校と家庭、地域とのコミュニケーションが増えるといい
	地域	①私は、学校教育目標や教育方針を理解している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学級経営	教職員	②私は、生徒のよさや可能性を発揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は教職員100%(R5は87%)、生徒91%(R5は92%)、保護者82%(R5は79%)、地域 63%(R5は55%)となった。(ただし、地域については、肯定的評価以外は「わからない」である。)また、ほとんどの生徒が肯定的評価である中で、そう思えない生徒がいる事実についても重く受け止めていく必要がある。</p>
	生徒	②私は、学級での生活が楽しいと感じている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□系列1 □系列2 □系列3 □系列4 □系列5</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も生徒観察、教職員間での情報交換及びhyper-QUなどの検査結果も活用し、よりきめ細かな生徒理解、学級経営を行う。 ・学校生活の様子を学校ホームページなども活用し、家庭や地域により具体的に伝えていく。
	保護者	②学校は、生徒のよさや可能性を発揮できる学級づくりをしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で行われている学級経営の具体的な内容等を保護者や地域も知ることが出来るといい ・教師間でも学級経営のノウハウが共有でき、良いと思われることを皆でやっていけるといい ・生徒が学校での生活を楽しんでいることで先生方の頑張りを評価できると思う。一方、保護者の評価からは、これからも向上していった欲しいという期待が込められているのではないかと思います。 ・hyper-QUというのは良い取り組みだと思うが、その内容について保護者や地域は理解していないと思うので、その取組についても伝わるといい
	地域	②学校は、生徒のよさや可能性を発揮できる学級経営を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導①	教職員	③私は、生徒が意見を主体的に発表したり、他者の意見を聞いたりして学びを深める授業を実践している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は教職員85%(R5は100%)、生徒90%(R5は93%)、保護者85%(R5は82%)、地域63%(R5は60%)となった。(ただし、地域については、肯定的評価以外は「わからない」である。) 授業では積極的に学び合いを取り入れ、意見交換をし合う学びは日常的になっているが、深い学びや学力向上等、成果が目に見える形で表れない難しさがある。</p>
	生徒	③私は、自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれながら勉強している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分で問い見出していけるような課題設定の工夫を行う。 ・学び合い学習、学級会活動等を通し、自分の考えを伝え合い、集団として合意形成していける力を育成する。 ・全ての教科で、「何がわかる(できる)ようになったのか」という視点での振り返りの徹底。
	保護者	③学校は、生徒が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・実際に授業の様子など見る機会が少ないとわからない(答えられない)ので、学校公開日を増やしたり、学校公開日には保護者に積極的に参観してもらおうと同時に地域の人にも積極的に来てもらえるようにできるといい</p>
	地域	③学校は、生徒が自分の意見を発表したり、友達の意見を聞いたりして、いろいろな考えにふれる授業をしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
学習指導②	教職員	④私は、学習目標達成のために学習用端末や大型モニタ等のICT機器を活用して、わかりやすく工夫した授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は教職員85%(R5は100%)、生徒91%(R5は100%)、保護者79%(R5は84%)、地域 84%(R5は60%)となった。(ただし、地域については、肯定的評価以外は「わからない」である。) ICT機器の活用に慣れて上手に使いこなすことができる生徒が増えている反面、旧来の、紙の教科書やノートを使って、しっかりと書くことによって学習のまとめや定着の方が効果的と考えられる生徒も複数いる。学力テストの調査問題分析などからも、弱点の補強を図る工夫をしているところである。</p>
	生徒	④私は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりして、積極的に授業に参加している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習用端末や大型モニター等のICT機器の活用については、これからも各教科を中心に情報を共有し、より効果的な学びにつながるよう工夫していく。 ・生徒が主体的にICT機器を活用できるよう、教材や教育ソフトの選定についても更に検討していく。
	保護者	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「あまりそう思わない」という生徒への対応は、今後も丁寧をお願いしたい ・教職員と保護者の回答結果がほぼ同様であるところから、保護者が学校の授業について理解していると思われる
	地域	④学校は、授業で学習用端末を使って、考えを深めたり広げたりする、授業を行っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>■① ■② ■③ ■④ ■⑤</p>	

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
体力	教職員	⑤私(学校)は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は、教職員92%(R5は85%)、生徒87%(R5は87%)、保護者87%(R5は84%)、地域64%(R5は60%)となった。また、本年度の新体力テストの結果は、女子は全種目全国及び県平均以上であった。男子においても全国及び県平均を上回る種目が多数見られた。また、体育授業時の最初に必ず2000mまたは3000mのアップを行ったことも持久力の向上につながったと考える。</p>
	生徒	⑤私は、体育や休み時間・部活動等で、校庭や体育館などでいろいろな運動をして、体力をつけようと努力している。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <p>体育委員会など、生徒たちからの積極的な働きかけについても更に活発化させられるよう、指導助言を行っていく。</p>
	保護者	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの成績が県トップクラスであるので継続して欲しい ・中学生時代は基礎体力養成にとって大切な時期である。部活動については、地域移管の方向であるゆえに、内容や進度が大変気になる ・体力向上は大切なことだが、子どもの体調を考慮した授業を行って欲しい。小さな負荷で、(少しずつ)楽しく体力がつけられるよう、運動の嫌いな生徒もできるような工夫も大切。
	地域	⑤学校は、体育の授業を中心として、体育的行事の充実や運動機会の確保に努め、生徒の体力向上を図っている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
生徒指導①	教職員	⑥私は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭と連携・協力しながら対応している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>67%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>33%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	67%	②	0%	③	33%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は教職員100%(R5は95%)、生徒76%(R5は78%)、保護者68%(R5は73%)、地域 37%(R5は45%)となった。(ただし、地域については「わからない」が58%) 家庭と連携し、生徒理解、トラブル対応に努めているが、更に、生徒が相談しやすく、組織的に見届けることができる体制を整えると共に、生徒の発信力を育成する必要がある。</p>
	評価項目	割合														
	①	67%														
	②	0%														
③	33%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒	⑥私は、いじめやトラブルなどの問題に対して、先生や保護者に相談し、一緒に解決しようとしている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>54%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>22%</td></tr> <tr><td>④</td><td>14%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	54%	②	0%	③	22%	④	14%	⑤	0%	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒理解や個別相談や対応については組織的に行い、相談や対応の記録を個別でまとめ、見届けを絶やさぬよう、次年度への引継ぎを確実にする ・スクールカウンセラーや相談室と連携し、保護者に対する支援も充実させる 	
評価項目	割合															
①	54%															
②	0%															
③	22%															
④	14%															
⑤	0%															
保護者	⑥学校は、いじめやトラブルなどの問題に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>17%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>51%</td></tr> <tr><td>④</td><td>13%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>4%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	17%	②	0%	③	51%	④	13%	⑤	4%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の中には「そう思わない」という人がいるので、これからもていねいな対応をお願いしたい ・いじめに類する事案が発生しているのかいainのかは分からないが、学校側できちんと対処できていることが重要。 ・プライバシーのこともあるので、具体的な事例や対応について改めて地域に知らせる必要はないと思う。(この質問は、「地域」からはずして良いのではないかと) 	
評価項目	割合															
①	17%															
②	0%															
③	51%															
④	13%															
⑤	4%															
地域	⑥学校は、生徒の生徒指導上の課題等に対して、組織的に、家庭等と連携・協力しながら対応している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>16%</td></tr> <tr><td>②</td><td>0%</td></tr> <tr><td>③</td><td>21%</td></tr> <tr><td>④</td><td>58%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>5%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	16%	②	0%	③	21%	④	58%	⑤	5%		
評価項目	割合															
①	16%															
②	0%															
③	21%															
④	58%															
⑤	5%															

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
生徒指導②	教職員	⑦私は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は教職員84%(R5は100%)、生徒93%(R5は93%)、保護者72%(R5は71%)、地域 53%(R5は45%)となった。教職員は「学校は仲間とともに学ぶ場所」であることを意識し、生徒同士のより良い関わり合いを伸長させる中で、自己解決力の向上を図るよう努めると共に、一人ひとりに寄り添う姿勢で教育活動を行っている。保護者は、生徒自身の頑張りをよく認める中で、教職員の更なる支援に期待を寄せている。</p>
	生徒	⑦私は、自分のよさや可能性を伸ばしたり、友達との関わりを大切にしながら、自分の目標に向かって行動したりしている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒に粘り強く関わり、様々な場面で認め、ほめる機会をつくる。 ・学校生活の中心は学習であり、授業である。授業の中で、生徒のよさや可能性の伸長を図れるよう、授業づくりを丁寧に行っていく。 ・地域に学校の事が伝わるようにするためには、回覧など紙面によりもっと伝えていく必要がある。
	保護者	⑦学校は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の評価が高いのは、先生方の頑張りによるものだと思う。これからも丁寧な対応をおねがいしたい。 ・指導の誤りがないことを願っています。 ・(生徒たちの頑張りや充実した学校生活を送っていることを見える化するためにも)このアンケート結果を西市民センターなどに掲示すると良い。
	地域	⑦学校は、生徒のよさや可能性の伸長を図り、成長やつまずき、悩み等の理解に努めている。	<p>0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%</p> <p>□① □② □③ □④ □⑤</p>	

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察
特別支援教育	教職員	⑧私は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は教職員77%(R5は95%)、生徒77%(R5は81%)、保護者62%(R5は68%)、地域48%(R5は50%)となった。 家庭と連携・協力しながらの生徒支援に際しては、スクールカウンセラー等の助言や協力を積極的に活用した。生徒自身が自分の苦手について気づいたり、相談したりできる力も育てていく必要がある。</p>
	生徒	⑧私は、苦手なことなどを、先生や保護者に相談し、一緒に解決しようとしている。		<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールカウンセラーや特別支援教育の専門家の助言を得ること、また、家庭との連携を強化し、「だれひとり取り残さない」授業を教職員全員で目指していく。 ・生徒との信頼関係を更に深め、生徒の「困った時に相談できる力」も高めていく。
	保護者	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特性の理解だけでなく、困りごとの理解もしっかりと行っていただきたい。 ・特別支援学校や専門機関とも積極的に連携して行ってほしい。 ・(地域で無回答が多いのは)学校生活についてほとんど情報がないからだと思う。
	地域	⑧学校は、一人一人の特性の理解に努め、家庭と連携・協力しながら道具や工夫を取り入れ、個に応じた指導方法を積極的に取り入れている。		

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
地域とともにある学校	教職員	⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>23%</td></tr> <tr><td>②</td><td>69%</td></tr> <tr><td>③</td><td>8%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>0%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	23%	②	69%	③	8%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>対象ごとの肯定的評価(①+②)の割合は教職員92%(R5は100%)、保護者62%(R5は67%)、地域84%(R5は65%)となった。地域防災訓練への参加の際に保護者や地域の方と協働で活動したことを機に、これまで以上に、それぞれが更に連携・協働をしていきたいという思いが高まっている。連携の機会を増やしていく必要がある。</p>
	評価項目	割合														
	①	23%														
	②	69%														
③	8%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会の指導、助言、協力を得て、学校と地域が「顔の見える関係」になる機会を増やしていく。 ・地域の防災訓練への参加に関しては、計画段階から教職員が地域担当者と直接連携していくことで、生徒のより深い学習へとつなげていく。 ・今後も学校の活動を地域に広く知らせたり、協力を求めたりする。 													
保護者	⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに協力している。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>14%</td></tr> <tr><td>②</td><td>48%</td></tr> <tr><td>③</td><td>27%</td></tr> <tr><td>④</td><td>2%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>9%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	14%	②	48%	③	27%	④	2%	⑤	9%	<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学校、自分の地域のことなので、中学生には学校運営協議会、応援団、地域・保護者との活動についてもっと考えられると良い。(このアンケートに生徒も加える) ・今年度、地域の防災訓練が行われ、教職員と地域の方とのふれあいができた。とても良い機会であったので、これからも継続していただきたいと思う。 ・講演会やコンサートなど、人の集まる機会を地域と学校の融合のチャンスにしたい。 ・地域住民と学校との関りが少ないと感じる。 	
評価項目	割合															
①	14%															
②	48%															
③	27%															
④	2%															
⑤	9%															
地域	⑨私は、学校運営協議会・学校応援団の意義や保護者・地域等との活動の重要性を理解し、地域とともにある学校づくりに努めている。	<table border="1"> <tr><th>評価項目</th><th>割合</th></tr> <tr><td>①</td><td>21%</td></tr> <tr><td>②</td><td>63%</td></tr> <tr><td>③</td><td>11%</td></tr> <tr><td>④</td><td>0%</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>5%</td></tr> </table>	評価項目	割合	①	21%	②	63%	③	11%	④	0%	⑤	5%		
評価項目	割合															
①	21%															
②	63%															
③	11%															
④	0%															
⑤	5%															

鶴ヶ島市立西

中学校

評価結果:①そう思う ②だいたいそう思う ③あまりそう思わない
④そう思わない ⑤わからない・無答

領域	対象	質問項目	評価結果	評価・考察												
働き方改革	教職員	⑩私は、働き方改革の目的を理解し、業務改善を進め、心身ともに健康であるよう努めながら、教科指導や教育相談等に係る時間を増やし、教育の維持・向上に努めている。	<table border="1"> <caption>評価結果の割合</caption> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td>23%</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>69%</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>8%</td> </tr> <tr> <td>④</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>⑤</td> <td>0%</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	割合	①	23%	②	69%	③	8%	④	0%	⑤	0%	<p>評価結果についての分析・課題</p> <p>教職員による肯定的評価(①+②)の割合は92% (R5は75%)となった。「働き方改革」が業務の縮小ではなく、業務の効率化による教育の維持・向上であることを意識し、カエル会議などで、できることから少しずつ具体的な効率化のための方策を考え実行してきた結果と考える。</p>
	評価項目	割合														
	①	23%														
	②	69%														
③	8%															
④	0%															
⑤	0%															
生徒			<p>課題解決への方策</p> <p>・今後も、心の余裕をもって生徒を「徹底にかまう」ことができるよう、また、教材研究など、教科指導に係る時間をしっかりと確保できるよう、「カエル会議」を活用し、具体的な対策を考え実行に移していく。</p>													
保護者			<p>学校関係者評価委員会による評価</p> <p>・地域ボランティアで、教員の雑事をカバーできるようになればいいと思う。地域へのPRにもなり、地域の理解も向上する。</p>													
地域																